



アクテノン

NO. 49

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

■ ミュージカル ～ 創る喜び ～

川北 宣子 (宙の会 代表)



宙の会(SOLANOKAI)がオリジナルミュージカルの創作を始めて、今年で8年。おかげさまでこの2月24日～26日、名古屋市青少年文化センターにて5作目「海風(あらし)～おにじま物語～」を上演できる運びとなりました。

5作・・・多くも少なくもない数字ではあるが、ここまで続けられた自分自身に驚いている。

発端は、わが主宰する音楽教室の発表会。子どもたちに音楽と楽しく接してもらいたい、また、音楽が人に与える力を実感してもらいたいという、教育的観点から、オリジナル第一作目を創作。その小さなミュージカルに、観客である生徒たちの心が動いた。その時、音楽を使った舞台づくりが始まったのです。

平成10年にミュージカル「秘密の花園」を制作。手ごたえを感じ、以来「かぐや」「ラスト☆クリスマスツリー」「H・C・A」そして「海風」。もっと素敵な舞台にしたいとの一心で8年経ってしまいました。

ミュージカル創りは制作費がかかる。少ない制作費の中で、お客様に感動と満足感を味わっていただくには？・・・人の力だと思った。ブロードウェイミュージカルのように豪華でびっくりするような転換は見せられなくとも、演者の動かし方でカバーしていく、その方がもっと観る側に訴える力

があるのでは・・・より観る人の心に相通じる満足感を与えるのではないかと思うと自信がつく。

宙の会の「SOLA」は宇宙の広がりイメージするとともに多くの星の中から一際輝く星の成長を願っての命名です。宙の会ミュージカルに集まる舞台人は様々です。ベテラン俳優もいれば、これから勉強して舞台に立ちたいという若者もいます。しかし、なかなか歌えて踊れて芝居のできる人は少ないのが現状。そこで、それぞれの強い部分、弱い部分をうまくかみ合わせて融合させる。また、歌、ダンス、芝居の無理のないバランスでストーリーを転回していく。これはオリジナルミュージカルだからこそ出来ることである。

50歳からの手習い。私にとって舞台づくりはやっぱり小学生程度なのかもしれません。しかし、夢はいくつからでも持てるもの。もっと大きな夢に向かいたい。人からは完璧主義者といわれる私。舞台にはこれでよいという終着点はないのですから、もっともっと素敵な舞台を創っていただけです。これから、この地域に三要素そろった舞台人が育ち、名古屋発信のオリジナルミュージカルとして全国に発信できる日をただただ夢みるのです。宙の会の名の通り、あまたの星たちが醸し出す宇宙の輝きのような集まりになってほしいと願っている。



宙の会 Vol.5 公演
「海風」～おにじま物語～
名古屋市青少年文化センター
'06年2月24日(金)～2月26日(日)

トピックス

■ アクテノン シニア演劇部に参加して

川崎 敏男



募集チラシに「シニア演劇部あなたも現代劇を体験してみませんか?」と書かれていた。そう、これからはシニアの時代、若者なんかはまだ任せられない。よく若い頃に戻りたいと言いますが、若い頭で若い体では何の意味もありません。今の頭で体を若くしたい、それが本音です。今までの経験を生かす時です。

そんな思いで入部しました(強がり言ってます、頭を若返らせるためです)。

男2人女10人本当にほとんど素人です。発声練習、体操、基本の基本から始まりました。この人達で本当に舞台上に立てるのか不安になったのは演出家の佃典彦先生でしょう。私達はそんなことは何も考えず、その場その場で楽しく、3時のおやつやお茶をしながら練習していました。でも佃先生は怒りもせず、なだめたり課題を出して興味をなくさないようにして6ヵ月間12人を落ちこぼさずに中村文化小劇場まで導いてくれました。私たちが稽古で場数を踏むと上手くなりたいたいという気が始まった。徐々に気負いなく淡々と(これぞシニアパワー)。

大きな声で凍としていた中村須磨子、最初に炭坑節で場を盛り上げ最後で場を締めた駒木直美、一木千代子、川島文子、劇の中心大野智恵子、秋山絹代、斉藤じゅんこ、中盤で引き締めた中山潤幸、途中で体調を崩されたが最後まで頑張った田中邦子、その田中邦子が休んだ時に控として見事なまでにカバーした川島文子、妊婦なんてと思いながら満更でもなくなった本多恵美子、伊藤久美子。皆が盛り上げその役に成りきった素人《シニアの経験の重み》でしか出来ない劇が佃先生の元で出来たと思います。なぜなら一人も観客(120人余り)が途中で会場から出て行かなかった、そして公演が終わって会場から出て来た時には皆がニコニコしていた。まったくの素人がこんな恵まれた環境でそして大きな劇場で公演出来るなんて、こんな幸せはない。この企画立案したアクテノンのスタッフそして裏方として携わった皆さん、シニア演劇部全員に感謝したい。本当にありがとう。観客の皆様にも感謝。

そして、佃先生岸田戯曲賞受賞おめでとうございませう。(文中敬称略)



アクテノン シニア演劇部発表会
「ある夜の、デンエモン」
'05年12月16日(金)～17日(土)
名古屋市中村文化小劇場にて

アクテノン・シャワー

■ 佃さんおめでとうございます!!

佃 典彦さん(劇団B級遊撃隊)が第50回岸田国士戯曲賞を受賞されました。

昨年、佃さんはアクテノンで開催した「アクテノン シニア演劇部」の顧問としてご指導をいただき、発表会も大変好評をいただきました。身近でご協力をいただいている方がこの素晴らしい賞を受賞され、職員一同喜びもひとしおです。

どうぞ、これからもご活躍いただき、多くの方々に演劇の素晴らしさ、楽しさを伝えていってください。

佃さん、本当におめでとうございます。

■ 舞台音響ワークショップご案内

音響機器の基礎知識から小劇場クラスでの仕込み・本番を想定した実践を学んでいただくワークショップです。皆様のご参加をお待ちしております。

日時:平成18年3月25日(土)
10:00~17:00

場所:演劇練習館リハーサル室
講師:糟谷卓司(演劇集団 海賊船II)
料金:1,000円(保険料含む)

■ 図書をご寄贈いただきました。

次の方々から多数の図書を資料コーナーにご寄贈いただきました。大切に活用させていただきたいと思っております。ありがとうございました。

[敬称略]

日本劇作家協会東海支部 長久手文化の家
江田 宏子 中田 聡一郎
宝珠山 隆博 須部 甫
水谷 宏 田代 政弘
岡部 紀子 渡邊 五平

アクテノン利用団体紹介

①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④代表者名、住所、電話

演劇 劇団 自由舞台



劇団自由舞台は創作劇を中心に公演しています。発足以来北青年の家を拠点に活動を続けて来ましたが昨年アクテノンに練習場を移しました。団員は20代が中心ですが少し家族的雰囲気になりつつあるので、昨年は既製の本を選んで公演もプロデュース形式にしました。初めての仲間との芝居創りはむつかしさもありますが、刺激的な事も多く、やはり芝居には適度な緊張感が必要だということを実感させられました。芝居好きの仲間を募集しています。公演は年一回の予定です。ぜひご連絡ください。

アクテノンに一言 アクテノンのことは出来た当時から聞いていましたが、遠いように思って利用してなかったのですが、利用してまず22時まで使用出来るのは本当に助かると思いました。慣れれば地下鉄から歩くのも気に成らないし。

①1982年 ②7名 ③記憶喪失/西文化小劇場('03) フリーター天国/西文化小劇場('04) チャレンジ/西文化小劇場('05) ④渡辺 明治
〒462-0012 名古屋市北区楠2-711
☎(052)902-9024

演劇 アーノルド・エス・ネッガーエクスプロージョンシステム



メンバーを募集します。現在18~28歳の男女がおります。やる気とセンスと人間性重視、経験、年齢、国籍など不問。面白いことに貪欲で、何事も楽しめる人。「観客の人生をちょっとプラスに」動かすことを目標に、演劇の現在性を常に模索しつつ、緻密な物語と笑いを武器とするエンターテインメント作品を作りたいと考えています。大人計画・ナイロン100℃・シティボーイズ・ラーメンズ・三木聡・サウスパーク、あたりが「好きそう」と言われますが、好きでないものもあります。

アクテノンに一言 長い名前ですいません。演劇練習館で演劇の練習をする、なんて贅沢! 最大24時までの延長、なんて素敵! なんだかカーブした部屋、慣れれば快適! 是非うちの近所にもう1館建てていただきたい。

④ 純情な怪談/セツ寺共同スタジオ('05) ギブ・ミー・シェルター/愛知県芸術劇場小ホール('05) 猿よさらば/名古屋市千種文化小劇場('06)

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

<p>劇団サラダ 第16回公演 『after Rain』</p>	<p>① 名古屋市北文化小劇場 ② 3月10日(金) 7:00、11日(土) 3:00 ③ 2,000円(当日2,300円) ④ ☎090-8072-9288 http://gekidan.salad.ne.jp/ 劇団サラダが1年半ぶりに贈るアクションファンタジー! お楽しみに!!</p>
<p>ボイスワークショップすにい 実験劇場(ちくさ座企画公演) 『楽屋』</p>	<p>① 名古屋市千種文化小劇場(ちくさ座) ② 3月16日(木) 7:00、17日(金) 2:00 7:00 ③ 1,500円(前売・当日共) (名古屋市文化振興事業団友の会会員 1,200円) ④ ☎090-1239-9272 E-mail soon@lime.ocn.ne.jp 「声・顔・芝居」この図式を「楽屋」を通してどこまで具現できるのか・・・。照覧あれ!</p>
<p>GAM 企画公演 『椿鬼』</p>	<p>① G/pit ② 3月31日(金) 7:00、4月1日(土) 1:00 5:00 ③ 800円(当日1,000円) ④ ☎090-8549-6117(代表) gam-project@hotmail.co.jp 哀しくも美しい愛憎劇・・・の前に、お楽しみもあります。「アンは暗黒のアンだ!」</p>
<p>しんくう団 第四回公演 『かくれんぼごっこ』</p>	<p>① theater MOON(旧・少年ボーイズSHOW劇場) ② 5月27日(土) 1:00 4:00 7:00 ③ 500円(前売・当日共) ④ ☎090-6599-5998(成田) 男2人芝居です。濃密な空間を共有しませんか?</p>



編集発行/平成18年2月25日(年4回)
名古屋市文化振興事業団 名古屋市演劇練習館(アクテノン)
〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-4-7
TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は再生紙(古紙100%白色度80%)を使用しています。

